

# 大学生向け授業用パワーポイント②

2015年12月

東京弁護士会労働法制特別委員会

## 第2部

# ブラック企業の見分け方

# 今日お話しすること

ブラック企業から自分の身を守るためあらかじめ見抜く方法



## 「ブラック企業」って？

- ①暴力団など反社会的な勢力とのつながりを持つ企業（フロント企業）
- ②違法な活動・反社会的な活動を常態化させている企業
- ③若者の労働力を使い捨てる企業

## ブラック企業に入社してしまうと・・・

- ①通常あり得ない仕事をさせられる  
あり得ない制裁を受ける
  - ②違法な活動、反社会的な活動に加担させられる
  - ③法律上もらえるはずの賃金をもらえない  
長時間労働によって心身の不調を来たす
- 入社前にブラック企業であることを見抜く！



## ブラック企業を見抜く材料をどうやって集めるか？

- ・企業のホームページ
- ・会社説明会における説明
- ・求人広告
- ・リクナビ マイナビ 日経就職ナビ
- ・「就職四季報」(東洋経済新報社)
- ・EDINETで有価証券報告書「従業員の状況」(発行会社の場合)
- ・新聞記事や雑誌記事データのネット検索
- ・学校の就職部・キャリアセンター
- ・希望する業界や企業で働く先輩からの情報
- ・若者応援企業 厚生労働省各労働局



<http://wakamonooouen.go.jp/>

## 企業情報を見る時の注意点は？

会社のアピールを鵜呑みにしないこと  
会社が作ったイメージに引きずられないこと  
客観的な数字などから分かることがある



ブラック企業かどうかを見分けるために注目すべき点は？

- ①新卒採用者の**3年離職率**はどうか
- ②**残業時間**や**有給休暇の取得日数**はどうか
- ③過去に**過労死**、**サービス残業**、**セクハラ**問題がないか
- ④表示された待遇が**あまりに良すぎないか**
- ⑤労働組合があるか





## ブラック企業のサイン

- ①「感動」「成長」「夢」という言葉が多すぎる
- ②「若手でも活躍できる」「すぐに管理職になれる」  
よく分からない「実力主義」
- ③不自然な大量採用
- ④給料が明らかに高い(安い)
- ⑤すぐに内定が出る 「人物重視」



# 給与明細もよく見よう！

## ブラック企業新人の給与明細例

支給	基本給	役職手当	資格手当	合計
	270,000			270,000

高いと思ったら  
残業代込み

控除	健康保険	厚生年金	雇用保険	合計
	5,000	9,416	1,350	15,766

正しく計算  
されていない

勤怠	時間外	深夜	休日	残年休
	0	0	0	0

きちんと  
記録されない

合計	累積合計	差引支給額
	270,000	254,234

## 基本的なルールだがブラック企業がよく破るもの

- ①労働条件の書面による明示のルール
- ②1日8時間、1週40時間の労働時間ルール
- ③休日、年次有給休暇のルール

# 会社に入ったら・・・

## 上司や先輩のいうことを聴こう



でも、社会には悪いことを勧める大人もいる  
最低限の法律さえ守らない会社も、残念ながら存在する

経験が浅いうちは見極めが難しいこともあるので、  
会社とは違うところにいる大人に率直に相談しよう

## 【参考文献】

### ○ブラック企業被害対策弁護団

「ブラック企業を許さない！ー立ち上がった若者たちに学ぶ闘い方マニュアル-」(2014年かもがわ出版)

### ○ブラック企業被害対策弁護団

「働く人のためのブラック企業被害対策Q&A  
～知っておきたい66の法律知識」(2013年大学図書)

### ○ブラック企業対策プロジェクト

「内定・入社前後のトラブルと対処法」

### ○ブラック企業対策プロジェクト

「ブラック企業の見分け方～大学生向けガイド～」